

《Lesson 4》 「丁寧な命令文」と「提案・勧誘を表す命令文」

また、命令文には以下の内容を表すことができます。

(1) 丁寧な命令 (依頼)

<例> 窓を開けてください 名前を書いてください

(2) 提案・勧誘

<例> サッカーをしましょう ここで食べましょう

(1) 丁寧な命令文 (依頼)

丁寧な命令文は「～してください」「～しないでください」と言いたい時に使われます。ここでポイントとなるのが **please** という単語。これを肯定文・否定文関係なしに命令文に足してあげれば完成となります。足す場所は、文頭が多いのですが、文の最後にカンマを伴って足すこともできます。

【丁寧な命令文：基本の形】

Please + 一般動詞の原形 + be + ～.
(～してください / ～でいてください)

Please + don't (do not) + 一般動詞の原形 + be + ～.
(～しないでください / ～でいないでください)

<例> **Please** come here at noon. (あるいは、Come here at noon, **please**.)

<正午にここに来てください>

Please be quiet. (あるいは、Be quiet, **please**.)

<静かにしてください>

Please don't touch this. (あるいは、Don't touch this, **please**.)

<触らないでください>

Please don't be noisy. (あるいは、Don't be noisy, **please**.)

<うるさくしないでください>

【作り方】

ステップ①： 命令文を作る。

ステップ②： 文の先頭に **Please** を足す (あるいは、文の最後に **, please** を足す)。

<例1> 「正午にここに来てください」という文を作る場合。

ステップ①： 命令文を作る。 「正午にここに来て」

Come here at noon.

ステップ②： 文の先頭に **Please** を足す（あるいは、文の最後に **, please** を足す）。

Please come here at noon. (Come here at noon, please)

<例2> 「うるさくしないでください」という文を作る場合。

ステップ①： 命令文を作る。 「うるさくしないで」

Don't be noisy.

ステップ②： 文の先頭に **Please** を足す（あるいは、文の最後に **, please** を足す）。

Please don't be noisy. (Don't be noisy, please)

(2) 「提案・勧誘」を表す命令文

「提案・勧誘」を表す命令文は 「～しましょう」「～しないでおきましょう」と言いたい時に使われます。今回使われるのは **let's** という単語。肯定文（～しましょう）の場合、“**let's + 命令文**” で完成なので、簡単なのですが、否定文の場合 “**let's not + 命令文**” となり “**let's don't + 命令文**” にはならないので注意する必要があります。

【提案・勧誘を表す命令文：基本の形】

Let's + 一般動詞の原形 + ～.
be
(～しましょう)

Let's not + 一般動詞の原形 + ～.
be
(～しないでおきましょう)

<例> **Let's go to the station.** <駅に行きましょう>

Let's not use this computer. <このパソコンは使わないでおきましょう>

【作り方】

ステップ①： **肯定**の命令文を作る。

ステップ②： 「しましょう」（肯定文）の場合は、**Let's** を文頭に足す。

「～しないでおきましょう」（否定文）の場合は、**Let's not** を文頭に足す。

<例 1> 「駅に行きましょう」という文の場合。

ステップ①： 肯定の命令文を作る。 「駅に行って」

Go to the station.

ステップ②： 「しましょう」（肯定文）の場合は、Let's を文頭に足す。

Let's go to the station.

<例 2> 「このパソコンは使わないでおきましょう」という文の場合。

ステップ①： 肯定の命令文を作る。 「このパソコンを使って」

Use this computer.

ステップ②： 「～しないでおきましょう」（否定文）の場合は、Let's not を文頭に足す。

Let's not use this computer.